

蒲郡市竹島水族館

蒲郡市竹島水族館では三河湾や太平洋の深海に生息する豊かな海の生物について、クリエイティブでインタラクティブな展示で紹介している。一般的な説明パネルとは異なり、水族館内の手書きの案内板には、展示されている魚や甲殻類などの詳細が小学校の成績表や履歴書のような形式で紹介されている。また、海の生き物たち自身の「コメント」を想像させるようなものもあり、特に子供たちにとっては親しみやすいものとなっている。

この水族館では海の生き物の生息環境をデザインする際にも同様のアプローチをとっている。ある展示は、カラフルなシンダーブロックをアパートのように並べ、名前と住所を記したものだ。この水槽に生息する深海魚は海底付近の状況に似ているため、ブロックの限られたスペースが快適なのだ。

展示されている深海生物の多くは希少なもので、蒲郡から出漁している 4 隻の遠洋漁船で働く地元の漁師の網にうっかりかかってしまったものも多い。竹島水族館にはサメ、タイ、エビなど約 140 種類の深海生物がいる。

この水族館のもうひとつの重要なテーマは地元の魚介類に焦点を当てていることだ。水槽の一

部には食べておいしい海の生き物を示すステッカーが貼られ、写真やビデオを使って、特定の魚を食材として調理する方法が紹介されている。

水族館の一角には浅いオープン水槽があり、来場者は海の生き物を優しく撫でることができる。魚や甲殻類だけでなく、カワウソやカピバラ、カメなども飼育されている。アシカのパフォーマンスも1日3回ある。